



あつりょくかいほうぶた

後付け圧力開放蓋 取扱説明書

この取扱説明書は施工後必ずお施主さまへお渡してください。

お施主さまへのお願い



① 正常な開放機能を維持するために、

定期的なフタのお手入れをおねがいします。

→ お手入れを怠りますと臭気漏れ、動作不良につながります



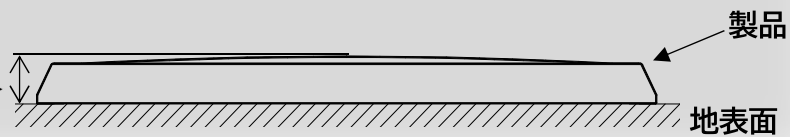
② 製品設置後地表面に段差ができます(11mm・16mm)

設置個所付近を通行の際には十分ご注意願います。

設置後段差

φ150:11mm

φ200:16mm



お手入れ方法は、次頁をご覧ください

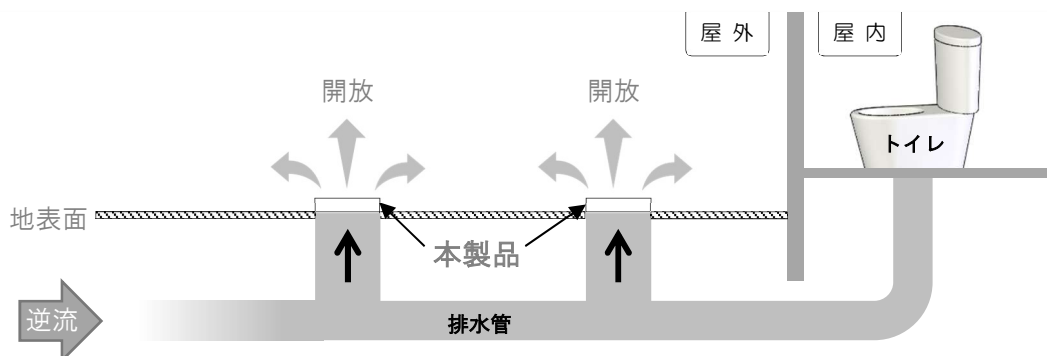
製品の役割(汚水配管の場合)

本製品は、ゲリラ豪雨などにより下水道本管から逆流する空気を大気開放する製品です。

屋外のフタから圧力を開放することで、
トイレなどの屋内排水器具における『ふき出し』
を抑制し、水漏れや臭気被害から建物を守ります。



※下水道本管から逆流する空気を大気開放しているときには、一時的にニオイが発生することがあります。ご了承ください。



お手入れの目安

以下のいずれかに当てはまる場合は、「お手入れ方法」に従ってフタの清掃をしてください。



フタが閉まらない・傾いている



砂やごみが詰まっている



周囲がいつも臭う



お手入れ方法

手が汚れないようにゴム手袋などをして、以下の手順でお手入れをしてください。

Step1

フタを外す

マイナスドライバーを切欠き溝に差し込み、テコの原理で外します。



作動部の分解は出来ません。むりやり外そうとすると、破損や作動不良の原因となりますので、ご注意ください。

Step2

水で洗う

パッキン（黒色）の周りを中心に洗ってください。



洗浄後は、パッキンがきちんとセットされていることを確認してください。

Step3

もとに戻す

「パチッ」と音がするまで、しっかりとはめてください。



最後に、せっけんなどで手をしっかり洗ってください。

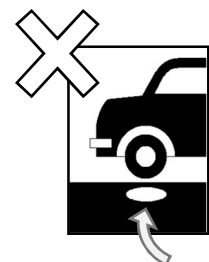
お願い

【 使用上の留意点 】

フタの上に車や植木鉢などを載せたままにしないでください。

物が載っている間はフタが作動せず、圧力を開放できなくなります。

※ 普通自動車（車両総重量2 t以下）の通過自体は、問題ありません。



取り付け条件

以下の条件に当てはまるフタ枠にご使用いただけます。

フタ枠寸法



【フタ枠 寸法・材質条件】

	150 サイズ	200 サイズ
呼び径	φ 150	φ 200
内径【d】 [mm]	φ 154~160	φ 199~206
高さ【h】 [mm]	8mm以上	6.5mm以上
材質	硬質塩ビ	

注意 ※硬質塩ビ以外のフタ枠には接着できません

※ 当社の硬質塩ビ製フタ枠に取り付ける場合は、本製品のフタのみをご使用いただくか、別途フタのみをお買い求めください。

設置位置

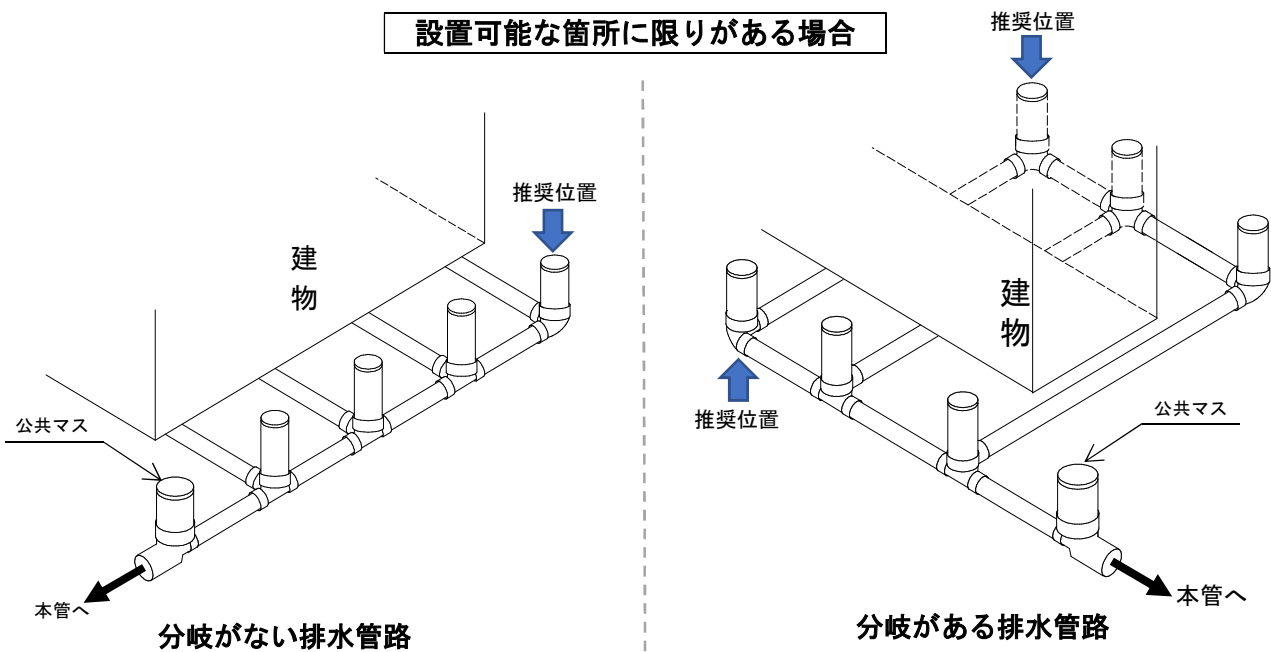
圧力開放蓋は設置する数が多いほど大気開放する空気量が増すので効果が高まります。

分岐がある排水管路の場合、全ての経路上のマスのフタ枠に設置してください。

設置可能な箇所に限りのある場合は、可能な限り最上部のマスのフタ枠に設置してください。

※ 圧力開放蓋の動作を阻害させる車や植木鉢などの物が載る可能性がある場所は極力避けるように、設置位置を検討してください。

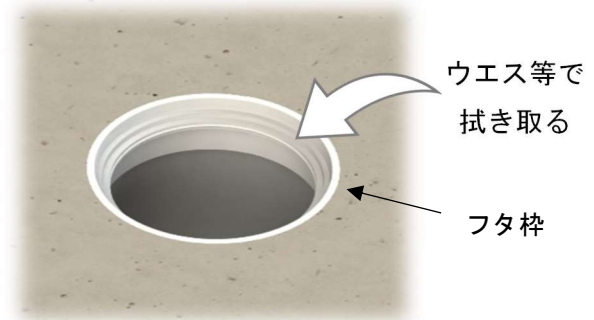
設置可能な箇所に限りのある場合



取り付け方法

Step1 ~設置準備~

設置するマスのフタを取り外し、
接着面となるフタ枠の上面と内面の汚れ・油分を
ウエス等で拭き取ってください。

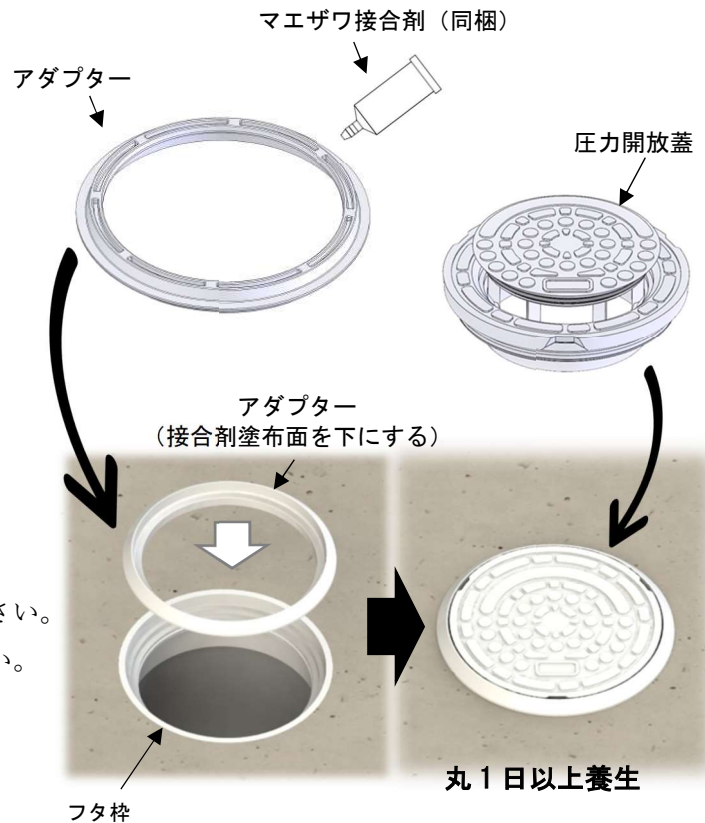
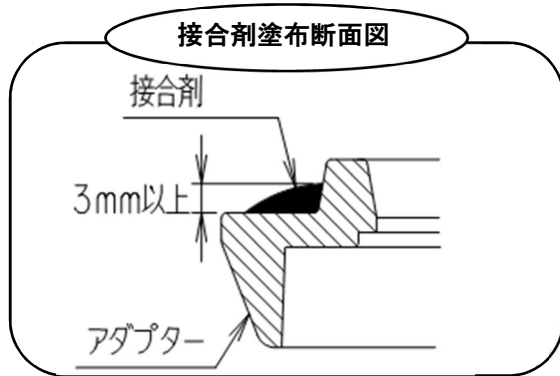


Step2 ~接着剤塗布~

同梱の“マエザワ接着剤”をアダプターの裏面に
3mm以上の厚みで盛るように塗布します。
その際、止水性確保のため接着剤が途切れず
連続して塗布されるようにしてください。



※誤接着の恐れがあるため、フタ枠とアダプター接着の
際は圧力開放蓋を取り付けしないでください。



Step3 ~接着・養生~

接着剤を塗布した面を下にして、
フタ枠にはめて接着します。
はみ出した接着剤はウエス等で拭き取ってください。
圧力開放蓋を閉じ、丸1日以上養生してください。



お問い合わせ

当社ホームページより最新の営業所一覧がご覧いただけます。

<http://www.maezawa-k.co.jp/>